

# 食品に関するリスクコミュニケーション(食品に残留する農薬、動物用医薬品等のポジティブリスト制導入の取組に関する意見交換会)次第

平成17年3月14日(月)

13:00~16:30

於 千里ライフサイエンスセンター

- 1 開 会 (13:00)
- 2 挨拶 (13:05~13:10)
- 3 食品に残留する農薬、動物用医薬品等のポジティブリスト制導入の取組 (13:10~13:50)  
○厚生労働省医薬食品局食品安全部基準審査課課長補佐 宮川 昭二
- 4 休憩 (13:50~14:00)
- 5 ラウンドテーブルディスカッション (14:00~15:30)  
【コーディネーター】  
厚生労働省食品安全部企画情報課課長補佐 広瀬 誠  
【パネリスト】

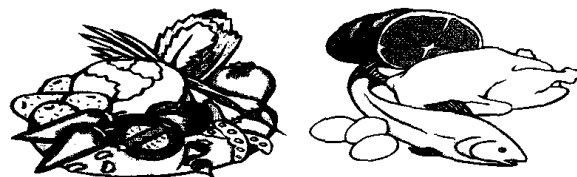
日本生活協同組合連合会理事	伊藤 潤子
畜水産物残留安全協議会	清水 良浩
J A 京都中央経済部営農販売課営農指導員	新谷 誠敏
(財)大日本産会林産品安全・表示部コーデックス専門委員会委員長	諏訪 義人
(財)食品産業センター技術開発部長	高野 靖
日本養豚事業協同組合理事	竹延 哲治
農薬工業会専務理事	玉川 寛治
(社)日本輸入食品安全推進協会運営委員	前田 裕之
(財)実験動物中央研究所学術顧問	林 裕造
厚生労働省大臣官房参事官	松本 義幸
厚生労働省食品安全部基準審査課長	中垣 俊郎
厚生労働省食品安全部基準審査課長補佐	宮川 昭二
厚生労働省食品安全部基準審査課食品規格専門官	近藤 卓也
厚生労働省食品安全部監視安全課輸入食品安全対策室長補佐	鶴身 和彦
農林水産省消費・安全局消費者情報官	姫田 尚
- 6 意見交換 (15:30~16:30)
- 7 閉 会 (16:30)

## <配布資料一覧>

- 資料 1 食品に残留する農薬、動物用医薬品等のポジティブリスト制導入の取組
- 資料 2 パネリストからのポジティブリスト制導入の取組に対する意見
- 資料 3 食品に関するリスクコミュニケーションにおける事前意見・質問について

# 食品に残留する農薬、動物用医薬品等の ポジティブリスト制度導入の取組に関する 意見交換会に参加いただいた皆様へ

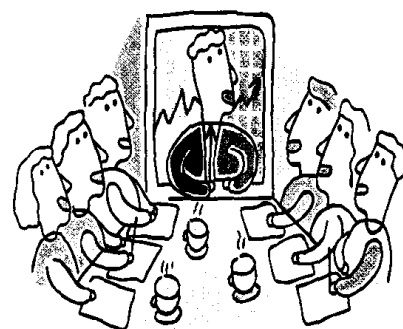
本日は、意見交換会に御参加いただきありがとうございます。  
この意見交換会は、リスクコミュニケーションの取組として  
行います。新しい取組なので、あまりなじみがないかと思いま  
すが、よろしくお願ひします。



## リスクコミュニケーションとは

リスクコミュニケーションは、関係者が情報を共有した上で、  
いろいろな立場から意見を出し合い、お互いがともに考える  
土壌を築き上げ、その中で関係者間の信頼関係を醸成し、  
社会的な合意形成を目指そうというものです。

リスク分析は、国民の健康の保護を目的と  
して、国民が危害にさらされる可能性がある  
場合、事故の後始末ではなく、可能な範囲で  
事故を未然に防ぎ、リスクを最小限にする  
ための仕組みです。



どのような管理措置を行うのか、関係者の納得が得られるこ  
とが重要と考えられており、リスクコミュニケーションの取組が  
重視されています。

## 本日の意見交換会の目的

リスクコミュニケーションは、個々の意見交換会で何かを合  
意して決めるというものではありません。

本日の意見交換会では、①ポジティブリスト制度とはどうい  
うものなのか、関係者間で情報を共有すること、②様々な立場  
から意見交換を行い、この問題についてどうあるべきかなどの  
認識を深めること、を目的としています。